



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 トレックス・セミコンダクター株式会社 上場取引所 東
コード番号 6616 URL <https://www.torex.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 芝宮 孝司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室 室長 (氏名) 前川 貴 TEL 03-6222-2875
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	6,404	△25.5	222	△87.2	△12	—	70	△94.3
2023年3月期第1四半期	8,593	22.5	1,743	174.1	1,757	159.7	1,238	159.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 291百万円 (△81.4%) 2023年3月期第1四半期 1,566百万円 (268.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	6.45	—
2023年3月期第1四半期	113.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	38,574	24,574	63.7	2,234.53
2023年3月期	37,048	24,593	66.4	2,236.24

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 24,574百万円 2023年3月期 24,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,000	△9.3	1,500	△62.3	1,500	△62.3	1,050	△51.8	95.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	11,554,200株	2023年3月期	11,554,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	556,424株	2023年3月期	556,324株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	10,997,781株	2023年3月期1Q	10,939,823株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスによる行動制限が緩和され、経済活動の正常化が進む一方で、欧米におけるインフレの進行と政策金利の上昇などの影響から減速感が強まりました。特に昨年度コロナ禍の影響を強く受けた中国では、その後の景気回復に大きな遅れが生じており、需要が低迷しました。日本においては、世界的なインフレ圧力や世界経済の減速に伴う輸出の落ち込み等により、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループが属するエレクトロニクス市場におきましては、コロナ特需の反動減や中国経済の失速などの影響から、民生機器市場、通信機器市場、PC関連市場などの幅広い分野で需要の減速と在庫調整が生じております。

このような環境のなかで、当社グループは、経営理念にある「市場に適応した価値ある製品を創出し、豊かな社会の実現と地球環境の保全に貢献する」ため、電気機器の小型化・省電力化に「電源」の観点から取組み、収益力の強化と持続的な成長の実現に向けて、以下の諸施策を継続的に推進してまいりました。

- ・当社東京技術センター、関西技術センター及び米国R&Dセンターにおいて、マーケットインの発想に立脚した、差別化のできる高付加価値な汎用製品、及びターゲット市場として注力する車載機器・産業機器に向け、特長ある製品を迅速に市場へ投入していくため開発活動を進めました。
- ・品質向上とコスト削減を両立させるべく、製品企画段階からのコスト分析の徹底、生産計画の効率化を進めるとともに、協力会社や製造子会社との協力体制を深め、同業他社に比して競争力のある製造コストと安定供給、納期対応の実現を進めました。
- ・顧客訪問に加え、オンラインも活用しながら、各地域に密着した営業活動を継続し、顧客の要望や製品企画への迅速かつ柔軟な対応と営業基盤の維持に努めました。
- ・製品需要に対しては、将来的な半導体需要に備え、生産力を確保するべく設備投資を実施し、一方で、原材料価格の高騰に対しては、製品販売価格の値上げを進めております。
- ・当社グループのビジネスの成長を加速させるため、超低損失と低価格の両立が期待されるβ型酸化ガリウムを使用したパワーデバイスの開発を行う株式会社ノベルクリスタルテクノロジーに対して出資を行っており、早期の製品化に向け、共同研究開発を進めております。
- ・グループ収益の最大化につなげるため、フェニテックセミコンダクター株式会社とのシナジー効果を高め、共同プロジェクトを推進しました。
- ・フェニテックセミコンダクター株式会社においては、製品の長期・安定供給体制と競争力のある製品づくり及び生産性向上に加え、半導体需要の高まりに対応するため、岡山第1工場・鹿児島工場の投資を実施しております。

その結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高64億4百万円（前年同期比25.5%減）、営業利益2億22百万円（前年同期比87.2%減）、経常損失12百万円（前年同期は経常利益17億57百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益70百万円（前年同期比94.3%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①日本

当第1四半期連結累計期間における日本事業は、主に産業機器分野向けや車載機器分野向けの販売が減少したことにより、売上高は46億1百万円（前年同期比19.2%減）、営業利益は1百万円（前年同期比99.9%減）となりました。

②アジア

当第1四半期連結累計期間におけるアジア事業は、主に産業機器分野向けや車載機器分野向けの販売が減少したことにより、売上高は12億41百万円（前年同期比40.8%減）、営業損失は10百万円（前年同期はセグメント利益1億79百万円）となりました。

③欧州

当第1四半期連結累計期間における欧州事業は、主に家電機器分野向けの販売が減少したことにより、売上高は4億14百万円（前年同期比20.0%減）、営業利益は52百万円（前年同期比41.0%減）となりました。

④北米

当第1四半期連結累計期間における北米事業は、主に産業機器分野向けの販売が減少したことにより、売上高は1億47百万円（前年同期比47.6%減）、営業利益は0百万円（前年同期比99.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は255億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億78百万円増加いたしました。増加の主な要因は、将来の半導体需要に備えて棚卸資産が5億61百万円増加したことなどによるものであります。

固定資産は129億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億47百万円増加いたしました。増加の主な要因は、当社子会社において製品の増産体制を構築すべく新規設備等を導入したことにより、有形固定資産が7億85百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、総資産は、385億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億26百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は67億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億78百万円減少いたしました。減少の主な要因は、夏季賞与支給に伴い引当金を取り崩したことで賞与引当金が4億17百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は72億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億23百万円増加いたしました。増加の主な要因は、新規設備投資に充当することを主な目的として追加借入を行った結果、長期借入金が22億16百万円増加したことなどによるものであります。

この結果、負債合計は、139億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億45百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は245億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ19百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は63.7%（前連結会計年度末は66.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信[日本基準]（連結）」にて発表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,572,536	9,327,490
受取手形及び売掛金	5,332,969	4,873,541
棚卸資産	10,034,728	10,596,154
その他	777,874	801,250
貸倒引当金	△3,213	△4,589
流動資産合計	24,714,896	25,593,847
固定資産		
有形固定資産	9,201,486	9,987,258
無形固定資産	583,080	545,726
投資その他の資産		
その他	2,580,932	2,482,296
貸倒引当金	△31,656	△34,345
投資その他の資産合計	2,549,276	2,447,951
固定資産合計	12,333,842	12,980,936
資産合計	37,048,739	38,574,784
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,200,122	948,014
短期借入金	1,900,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	1,470,496	1,497,976
未払法人税等	184,425	89,864
契約負債	673	13,255
賞与引当金	589,493	172,337
役員賞与引当金	24,070	7,520
その他	2,012,815	2,074,532
流動負債合計	7,382,096	6,703,499
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	4,264,360	6,480,416
退職給付に係る負債	391,063	393,752
株式給付引当金	77,183	83,877
その他	240,101	238,306
固定負債合計	5,072,708	7,296,351
負債合計	12,454,805	13,999,851
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,967,934	2,967,934
資本剰余金	8,388,605	8,388,605
利益剰余金	13,422,586	13,183,282
自己株式	△678,960	△678,960
株主資本合計	24,100,165	23,860,861
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△105,201	△117,086
為替換算調整勘定	550,361	784,895
退職給付に係る調整累計額	48,608	46,262
その他の包括利益累計額合計	493,768	714,071
純資産合計	24,593,934	24,574,933
負債純資産合計	37,048,739	38,574,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	8,593,789	6,404,644
売上原価	5,419,092	4,767,889
売上総利益	3,174,697	1,636,755
販売費及び一般管理費	1,431,653	1,414,095
営業利益	1,743,043	222,659
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,388	14,037
受取賃貸料	10,618	12,021
その他	4,817	6,214
営業外収益合計	27,824	32,273
営業外費用		
支払利息	8,489	33,520
為替差損	551	231,363
支払手数料	2,000	2,000
その他	2,525	565
営業外費用合計	13,567	267,449
経常利益又は経常損失(△)	1,757,301	△12,516
特別利益		
補助金収入	—	126,320
特別利益合計	—	126,320
特別損失		
固定資産除売却損	3,441	3,129
固定資産圧縮損	—	112,262
特別損失合計	3,441	115,391
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,753,859	△1,587
法人税等	515,517	△72,554
四半期純利益	1,238,341	70,966
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,238,341	70,966

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,238,341	70,966
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,261	△11,884
為替換算調整勘定	271,019	234,533
退職給付に係る調整額	△3,603	△2,345
その他の包括利益合計	327,677	220,303
四半期包括利益	1,566,019	291,269
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,566,019	291,269

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
顧客との契約から生じる 収益	5,697,914	2,096,869	518,071	280,934	8,593,789	—	8,593,789
外部顧客への売上高	5,697,914	2,096,869	518,071	280,934	8,593,789	—	8,593,789
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,401,959	174,355	9,521	16,852	2,602,688	△2,602,688	—
計	8,099,873	2,271,225	527,593	297,787	11,196,478	△2,602,688	8,593,789
セグメント利益又は損失 (△)	1,487,430	179,239	89,200	62,776	1,818,646	△75,603	1,743,043

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額△75,603千円には、セグメント間取引消去△75,603千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域(デザイン・イン・ベース)の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	6,001,891	1,431,823	686,760	473,313	8,593,789

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期 連結損益計 算書 計上額
	日本	アジア	欧州	北米	合計		
売上高(注2)							
顧客との契約から生じる 収益	4,601,902	1,241,104	414,385	147,253	6,404,644	—	6,404,644
外部顧客への売上高	4,601,902	1,241,104	414,385	147,253	6,404,644	—	6,404,644
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,331,917	72,930	10,817	5,412	1,421,078	△1,421,078	—
計	5,933,819	1,314,034	425,202	152,666	7,825,723	△1,421,078	6,404,644
セグメント利益又は損失 (△)	1,633	△10,701	52,587	118	43,638	179,021	222,659

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。調整額

179,021千円には、セグメント間取引消去179,021千円が含まれております。

2. 当社は、当社の製品を搭載した電子機器等が企画・設計され、実質的に受注を獲得した地域（デザイン・イン・ベース）の売上高を基にした指標も加味して事業戦略上の意思決定を行っております。デザイン・イン・ベースで集計した売上高は以下のとおりとなります。

(デザイン・イン・ベースの売上高)

(単位：千円)

	報告セグメント				
	日本	アジア	欧州	北米	合計
売上高	4,840,110	775,123	591,462	197,947	6,404,644